

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社クオリス
施設名	クオリスキッズいけがみ保育園
施設所在地	大田区池上6-27-25

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

ビー玉が光ることに気がついた子どもたち。保育室内にあった非常用のランタンを使って光るもの探しを始めました。保育室横の非常階段は暗くて、光遊びに適していて、自分で探した様々なおもちゃを照らすことで、素材の違いに気がつきました。日常の遊びの中で、光が生み出す影や色の変化に興味を示す子どもの姿が見られたため、光の動きや形の広がりを体験できる環境を整えたいと考え、テーマに設定しました。

素材、影の大小、水溶液、玩具だけでなく自分たちで作る素材などを整え、遊びに

## 2. 活動スケジュール

- ・ 6月頃 身近にある光りそうなものを探す。園内の暗い場所を探して懐中電灯やランタンで照らし、影絵遊びを楽しむ。
- ・ 7月頃 壁にペープサートの影を投影して楽しむ。
- ・ 8月頃 夏祭りにて親子でスタンドグラスうちわづくりをし、投影して楽しむ。
- ・ 9月頃 カラー水溶液をライトテーブルに並べて光り方を楽しむ。
- ・ 10月頃 カラーアクリルブロックをライトテーブルの上で組み立て光の公園を作り出す。
- ・ 11月～1月頃 スクリーンを垂らし高輝度懐中電灯で映画館ごっこをする。
- ・ 2月 発表会にて映画館ごっこの延長でクリアファイルにカラーペンで絵を

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・ ライトテーブル・クリアファイル・カラーペン・カラーアクリルブロック・懐中電灯・高輝度懐中電灯

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

光りそう、光を通しそうと子どもたちが思うものを光に当ててみる。光を通す素材に式な絵を描き影絵シアターや、壁などに写し楽しむ。その様子を日誌やドキュメンテーションに記録する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育室にある光りそうなものを探す。クリアファイルにカラーペン(ピグマックス)で絵を描く際に、イメージでは塗った色に光ると思ったが、上手く色が映らず、子どもも保育者も疑問に思った。よく見たらピグマックスは不透明インクだったのが原因だった。プロッキーを買いなおし書き直した。プロッキーは光を通してくれたため、思い通りの作品ができた。書いてみないとわからない発見だった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちのこれなら光るのではないかと試行錯誤する姿や考える姿勢、意見を出し合う姿に感心した。

カラーペンのところでは、普段使っているペンだが書く素材によって光を通す通さないがあるんだと新たな発見をすることができた。これには保育者側も子どもと一緒に光りそうなものや、園内で暗い場所を一緒に考えたり、試行錯誤しながら楽しくすくわくの活動をするすることができた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社クオリス
施設名	クオリスキッズいけがみ保育園
施設所在地	大田区池上6-27-25

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

苔

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

4歳児クラスで「こけこけこけこっこー」と言い出した一言から、その題名の絵本を購入。

絵本との出会いから「こけ」の性質と出会い、公園内のコケを観察し始めていた。

5歳児へ進級後も苔への興味が継続し、書籍、マイクロスコープなどでの観察が続いた。

## 2. 活動スケジュール

5月 苔リウムに出会う。

6月 自作の苔リウム作りが始まる

7月 苔リウムの講師を予備、ワークショップを行う、世話を始める

10月以降再度苔リウム作りが再熱

苔リウムキットを用いた苔リウムを作成する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

関連の絵本や図鑑を購入。ピンセット、虫眼鏡、デジタルスコープを購入し、よりコケを見られるようにした。プラスチックカップを購入し自作のコケリウムを作りをして楽しんだ。夏の時期には区内のコケ専門店の方をお招きし、ワークショップをする。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

コケを探すために散歩の行き先を子どもたちと決めた。絵本や図鑑を持ち出して実際のコケと見比べたりコケを探したりしてコケを観察する。ピンセットを使って採集し、虫眼鏡やデジタルスコープを用いて観察し、子どもが違いや発見したことを記録していく。コケリウムを作成し、保育室に飾り残したり、写真や映像で記録を残していった。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

クラスで行った活動を職員間で共有し、次の活動に活かせるように話し合った。子どもたちとサークルタイムを開き発見や気づいたことを報告し合う。友だちの発見を知り、さらに興味、関心を深めていった。また、自分の作った作品を飾ったり、行事で展示コーナーを備け、コケリウムと写真を飾り、全園児、全保護者に紹介を行い、共有した。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの興味関心が出たところや、何気ない言葉に反応していくことで子どもたちは、より興味関心を強め保育士や友達を巻き込みながら楽しく探究をしていくことが分かった。自分で調べたことや気が付いたり感じたりしたことなどを友だちや保育士と共有する姿も印象的だった。苔ブームが巻き起こり、〇〇公園に行ったら苔がたくさんありそう、本に乗っていた本門寺公園の本門寺コケを見に行きたいと子どもたちからの発信も多く自然と活動が進んでいった。また、ブームは一度去ったかな?と思わせつつも気が付いたらまた再熱していることも多かった。好きなものを夢中になって探す子どもたちの姿はいつも一生懸命だった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社クオリス
施設名	クオリスキッズいけがみ保育園
施設所在地	大田区池上6-27-25

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

数字・図形

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日常生活の中で見る景色で大人は意識はしないが、子供たちが気づく不思議な形をしたものがたくさんあります。そういった子供たちが関心をもったものを探求し、どういった形なのだろうと疑問に思うことを解決するため。本園の周辺には古墳や遺跡が多く、今の時代とは違った形の物を見ることができ、子どもたちの想像力をより豊かにできる環境がある。

## 2. 活動スケジュール

1か月に一回以上 幼児クラスが実施

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

様々な形のおもちゃを用意をして、子供たちがいろいろな図形を作成できるような環境を整える。

積み木を用意して、いろいろな形の物を作成する。それがいくつ・どの形の積み木を使っているか、わかるような活動を用意し探求活動を行えるようにする。図形の教材を使ったプログラムを実施して、子供たちのひらめきの幅を広げる。

図形を認識し組み立てるためブロック、積み木等

数量、数を認識しながら遊ぶためボードゲーム、IQパズル

テレビ・プリント

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

数について実際に物を数えたり、どちらがどれくらい多いかなど、視覚から数量を把握していった。ブロックを使い参考の図形を見て、立体にするなど想像の部分も働かせて作品を作っていた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ブロック遊びやボードゲームを使い最初はうまくできなかつたり、ボードゲームでは勝てない子どもたちがいたりなどしたが、出来るようになった子どもが他の子どもに教える姿が見られた。「できた!!」、「勝てた!!」という嬉しそうな声が聞こえるようになってきた。ボードゲームではトーナメント式で競うくらい子どもたちの間で白熱していた。

保育者は子どもたちが勝負でヒートアップしないように抑えたり、アドバイスをもらっても上手くできない子どもたちのフォローを行った。

また、IQパズルの動画を観て、数の多い少ないがわかる。図形の形に興味を持つことができた。四角い図形がいくつも重なって並べたもので空間認識を考え、隠れた図形も想像し数を考えることができた。動画に興味を示し、正解の果物の名前を声に出して言っていた。すべてのプリントに名前を書き練習をした。わかる内容はすぐ始めていた。前回同様とても楽しんで行っていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

昼礼時などの隙間時間に職員同士で子供が興味を持ったものや進捗状況を共有した。また、月に1度振り返りを行い子供たちが興味を持った図形やおもちゃ等を次回の活動時や普段の遊びの中でも取り上げていくことにしたことにより興味関心を深めていった。3月に総振り返りを行い次年度に向けてより子供たちがより探求していける環境を整えていきたいと思う。保護者へは子供たちがどのような探求活動を行ったかがわかるように園内掲示等で周知していきたい。